

事業継続マネジメント Business Continuity Management (BCM) BCM訓練支援コンサルティング



BCM訓練支援コンサルティングの概要とアプローチ

昨今、日本においても事業継続の考え方が浸透してきましたが、事業継続マネジメントを構成する三要素である事業継続プラン、緊急対応プランならびに危機広報プランを構築しただけでは、将来起こり得る危機に対する備えは万全とは言えません。各プランの訓練の実施を通してそれぞれの評価を行い、最新の組織体系や事業環境に適したプランに改善し、さらに運用面での見直しなどを行うことにより、いかなる危機に見舞われてもステークホルダー（利害関係者）の利益や、組織の評判・ブランド、価値創造活動を守るための組織のリジリエンス（弾力性）を実証することができるのです。

マーシュリスクコンサルティング (MRC) が提供するBCM訓練支援コンサルティング

MRCが提供するBCM訓練支援コンサルティングは、互いに連携した役割を担う3つのフェーズから構成されています。これらは、危機に直面した際、同時並行的に対応を行わなければならない緊急対応、危機広報対応そして事業継続対応の能力を養うために有効です。

■アウェアネス (Awareness) : 啓発・気付き

危機に直面した場合、どのような被害が想定されるのか、また、どのように備えるべきかを啓発することにより、各プランの取り組みに積極的に参加する環境の整備を支援します。組織の人々の積極的な参加がプランを発動し、円滑に対応を進め、そして窮地から脱するための重要な要素であることは言うまでもありません。

■トレーニング (Training) : 知識・スキルの獲得

危機に直面した場合の対応方法に関する知識を得て、対応に要するスキルの向上を目指します。

■エクササイズ (Exercise) : 演習

以下に挙げるような目的で演習を実施することにより、危機に直面した場合に円滑に対応ができるように備えます。演習を通して、各プランの担当者、担当部署をはじめとした関係者のみならず、全組織的な理解と協力を得られる組織風土の醸成を目指します。

- 組織全体に属する人員や部署の役割と責務の明確化
- 内外の組織間の垣根を越えた協力体制を構築するための調整・連携
- 組織を取り巻く現状と各プランの比較による人員や物資、情報などの資源との隔たりの洗い出し
- 個々人や組織のパフォーマンスの向上

できるようになる！

エクササイズ
(Exercise)

アウェアネス
(Awareness)

気付く！

トレーニング
(Training)

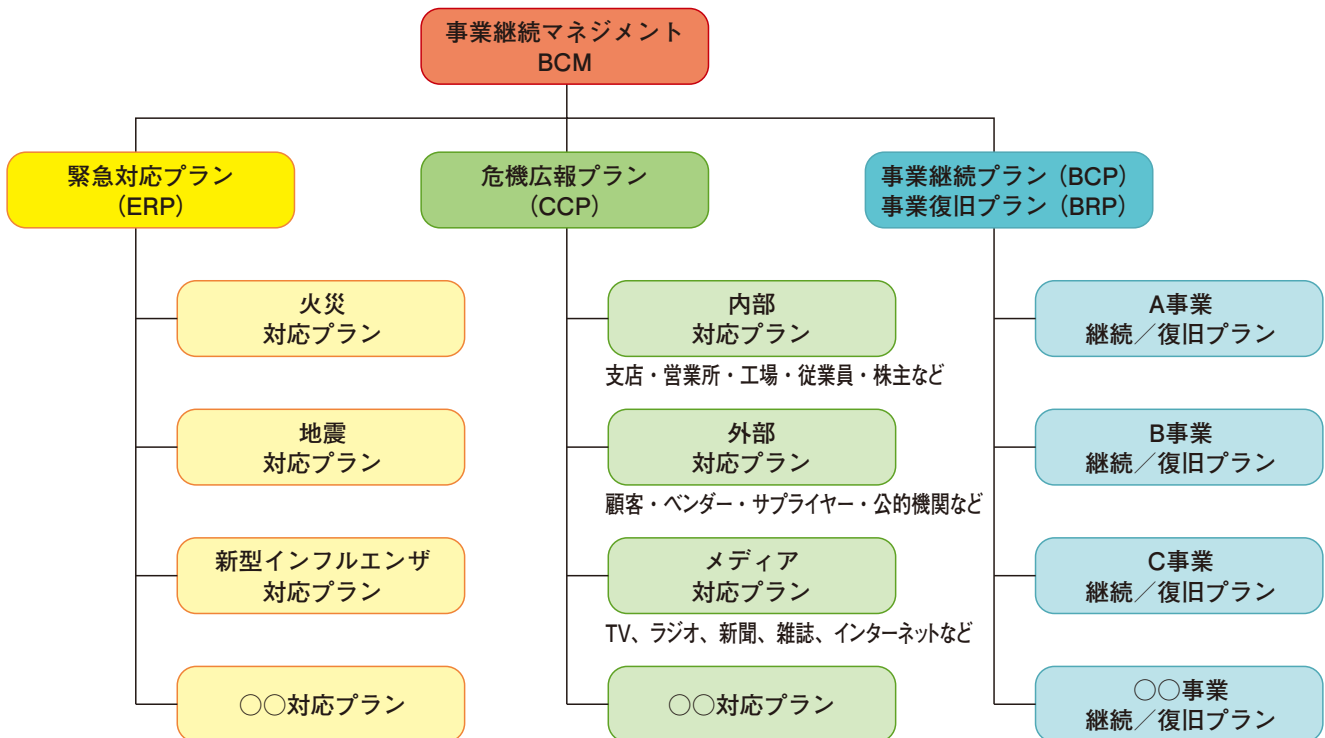
身に付く！

学ぶ！



MRCが提案するBCMは、緊急対応プラン (Emergency Response Plan/ERP)、危機広報プラン (Crisis Communication Plan/CCP)、事業継続・復旧プラン (Business Continuity Plan/BCP、Business Recovery Plan/BRP) の3つのプランから構成されています。それぞれのプランに特化した訓練や各プランを統合した訓練など、顧客の現状とニーズに合致したBCM訓練支援コンサルティングを提供しています。

BCM (事業継続マネジメント) のプランの構成

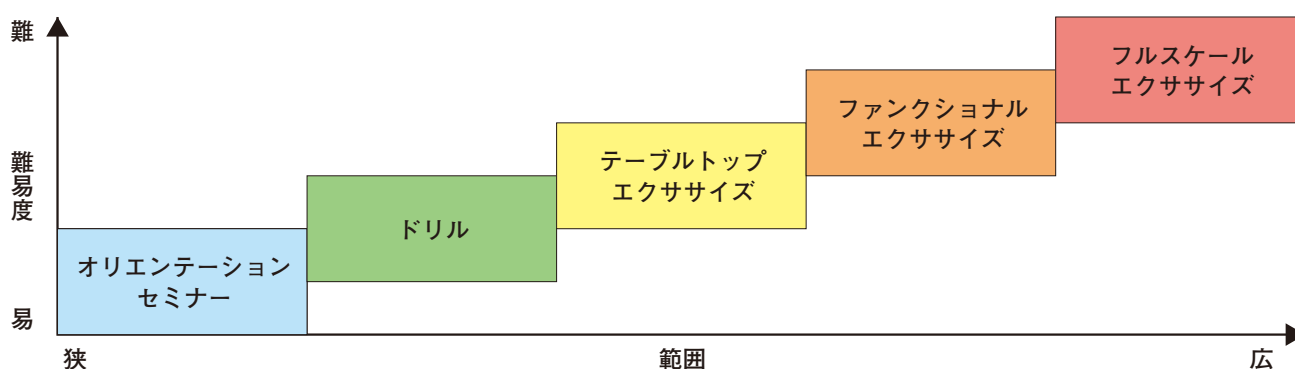


MRCが提供する主なBCM訓練は以下の通りです。組織が導入している各プランや想定する危機のレベルに応じてカスタマイズした訓練を提供しています。

BCM訓練の種類と内容

訓練	内容
オリエンテーション／セミナー	緊急対応プラン、危機対応プランそして事業継続／復旧プランの内容を対応要員、対象部門・部署の従業員や新入社員向けに周知。 ■ リスクマネジメントに関する講演会、BCP説明会、幹部研修、新入社員研修 など
ドリル	特定の資機材を使用する現場で、実際に担当する要員がスキルを維持・向上させることに主眼を置いた反復演習を実施。スキルの維持・向上が達成されることにより、自らが関わるプランはもとよりプラン全体への理解度や積極性を育成。 ■ 避難訓練、安否確認訓練、通信訓練、災害対策本部設置訓練 など
テーブルトップエクササイズ (机上演習)	グループディスカッションやワークショップを通して、危機に直面した際の個人と組織の対応方法を確認。実際の危機状況下を想定した議論により、各プランの遂行手順における問題点の洗い出しを行い、解決に導く。 ■ ウォークスルー（読み合わせ訓練）、モック・ディザスター（模擬災害対応訓練）、帰宅困難者帰宅シミュレーション など
ファンクショナルエクササイズ (機能別演習)	災害対策本部要員、現場対応要員そして経営陣などが一堂に会してより実践的な危機対応シミュレーションを実施し、個々人や組織の対応力や各プランの有効性を確認。時間的な制約を設けた対話式の演習により、各プランの複数の機能の検証が可能。 ■ 災害対策本部運営訓練、部署別BCP対応訓練 など
フルスケールエクササイズ (総合演習)	可能な限り実際の危機に類似した状況を作り、臨場感や緊迫感を体感しながら、個々人や組織の対応力や各プランの有効性を確認。災害対策本部の設置・運営だけでなく、対応要員や使用機材などを実際に稼働させ、各プランの機能や運用状況を確認し、プラン全体を評価。 ■ リハーサル、BCM総合演習（災害対策本部の意思決定に基づく実働訓練） など

訓練の位置付け



マーシュリスクコンサルティング

リスクアドバイザーと保険仲介の世界的リーディングカンパニーであるマーシュのコンサルティング部門であるマーシュリスクコンサルティング（MRC）は長年にわたりリスクマネジメントの分野を牽引しています。

現在、MRCは世界約40カ国でサービスを提供し、約1,800名のコンサルタントが在籍しています。アジアにおいては約50名のコンサルタントを配置しています。各業界の特有のリスクを熟知し、幅広い知識を持つコンサルタントは、組織を取り巻くさまざまなリスクに対して高度な専門知識を駆使しながら、組織の包括的な危機管理戦略立案から計画・分析・構築までの一貫したサービスを提供し、経済合理性のあるリスクマネジメントの導入を支援しています。

主なサービス内容：

- リスクマネジメントシステム構築支援
- 事業継続計画策定支援
- リスクコントロールプログラム（防災プログラム）構築支援
- 地震リスク分析
- 操業中断リスク（利益損失）分析 など



お問い合わせ

マーシュ ブローカー ジャパン株式会社
マーシュリスクコンサルティング

<http://www.marsh-jp.com>

03 5334 8290（代表）

Fax 03 5371 4512

今野 裕規 コンサルタント

03 5334 7845（直通）

yuki.konno@marsh.com

松田 洋子

03 5334 8202（直通）

yoko.matsuda@marsh.com

本書に記載の情報（以下「本情報」という。）は、信頼に値すると当社が信ずる情報源に基づくものでありますが、当社はその正確性につき何ら保証するものではありません。本情報は、取り扱われている主題に関して概観をご理解頂くためのみ提供されるものであり、個別の状況に対する助言としても法務上、税務上もしくは会計上の助言としても理解されまたはそのように依拠されるべきものでもありません。特定の保険の補償内容およびその他の個別の問題に関しては、本情報をお読みの皆様は、保険、法律、税務、会計その他の専門家・アドバイザーに各自でご照会頂く必要があります。本書の全部または一部の無断複写・複製・転載等を禁じます。